

## すぐに使える“DVR-S120” —— クイックガイド ——

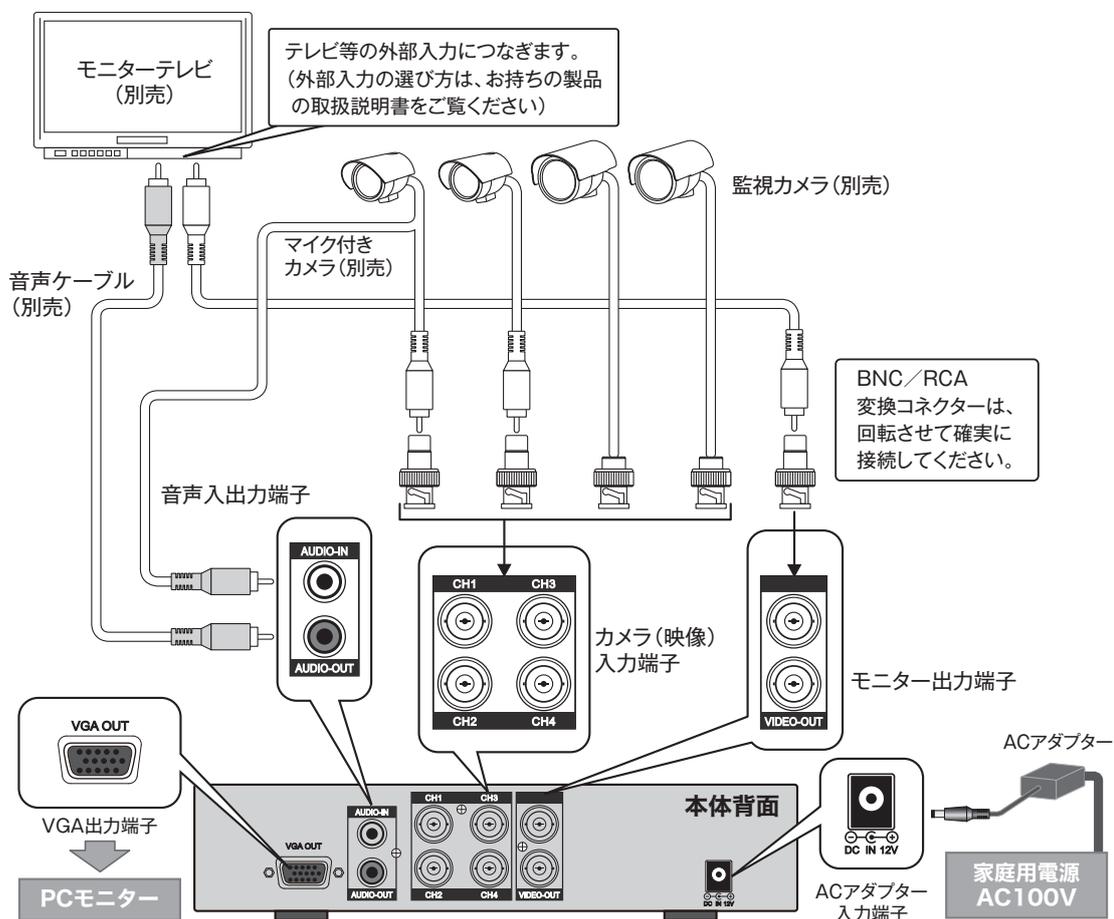
使用開始 Step 1・2・3 ..... P.1  
 はじめに設定しましょう  
 1. 動きのスムーズな映像を録画する ... P.3  
 2. カメラの配線が抜けたとき等にブザーを鳴らす ... P.5

再生 1. 日時指定再生する ..... P.6  
 2. リスト再生する ..... P.7  
 3. 再生中のボタン操作について ... P.7  
 再生メニュー画面表示 ..... P.8

### Step 1 カメラ・モニターを接続する。

下の接続例を参考に、監視カメラ、モニターを接続します。

#### ■ 監視カメラ・モニターテレビの基本的な接続例



### Step 2 電源コード・ACアダプターをつなぐ。

付属の専用 AC アダプターと専用電源コードをつなぎ、本体の電源入力端子と家庭用電源コンセント (AC100V) に接続します。



自動的に電源が投入され、システム起動後に録画状態になります。

※工場出荷状態の場合です。 ※監視カメラ側から映像信号が入力されていない場合は、録画設定状態でも録画しません。

# Step 3



## 現在時刻表示を確認する。

使用を開始する際は、ライブ画面上の必ず現在時刻をご確認ください。

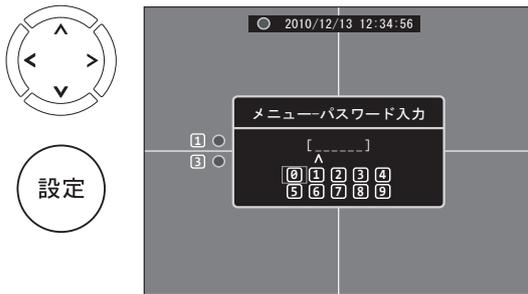
※正確な記録を残すために、定期的(1ヶ月に1回程度)な現在時刻の確認・設定をおすすめします。

### ▼ 現在時刻の設定方法

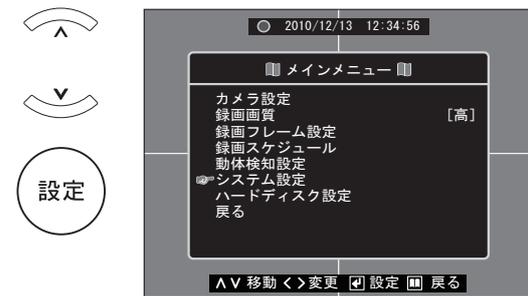
**1**  ライブ画面で【メニュー】ボタンを押します。

**2** [メニュー-パスワード入力] 画面が表示されます。 ボタンで [□] を移動して数字を選択し、【設定】ボタンでパスワードを入力していきます。

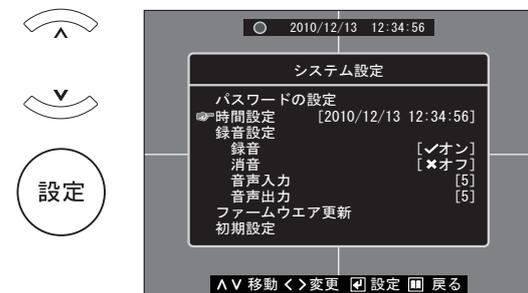
※パスワードの初期設定値「000000」



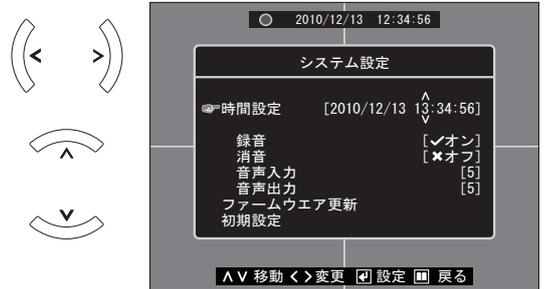
**3** [メインメニュー] 画面が表示されます。 ボタンで [システム設定] を選択し、【設定】ボタンを押します。



**4** [システム設定] 画面が表示されます。 ボタンで [時間設定] を選択し、【設定】ボタンを押します。

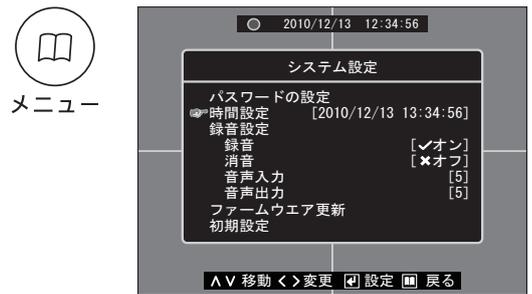


**5** 画面が [時間設定] 状態の表示になります。 ボタンで変更したい現在時刻の数値に  マークを合わせて、 ボタンで数字を切り替えていきます。



**6**  現在時刻が合うように操作 **5** を繰り返し行い、終了したら【メニュー】ボタンを押します。

**7** 通常の [システム設定] 画面に戻ります。 ボタンを押します。

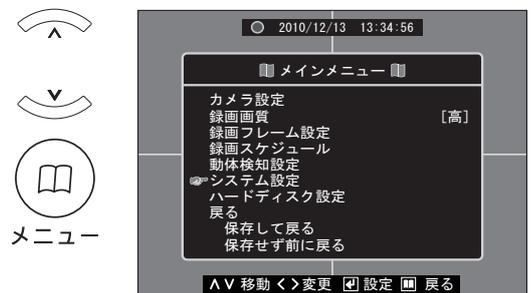


### 《注意》

この時点で、現在時刻の表示は [時間設定] を行った時間で進んでいますが、システム上で現在時刻は確定されていません。操作 **8** で設定を保存した時点でシステムに反映されます。

**8** [メインメニュー] 画面に戻ります。 ボタンで [保存して戻る] を選択して【設定】ボタンを押し、ライブ画面に戻ります。

※設定をキャンセルする場合は、[保存せず前に戻る] を選択して【設定】ボタンを押し、ライブ画面に戻ります。



# はじめに設定しましょう

## 1. 動きのスムーズな映像を録画する ※カメラの接続が3台以下の場合

### ■ [録画フレーム設定] を変更する

初期設定では、4台のカメラそれぞれに録画フレーム数 [15] が割り振られています。

接続しているカメラの数値を変更して、録画フレーム数を [30] に近くなるように増やしてください。

再生時に、よりスムーズな映像を見ることができます。

※ 30 フレームは、1台のカメラに割り振ることのできる最大値です。

録画フレーム設定		
録画フレーム総数 :	[60/60 (フレーム/秒)]	
カメラ-①	<	[15]
カメラ-②		[15]
カメラ-③		[15]
カメラ-④		[15]

### ▼ 録画時間の目安

録画画質	録画フレーム総数						
	60	45	30	15	10	4	1
高	3.4日	4.5日	6.7日	13.3日	20.2日	50.4日	202日
中	4.4日	5.9日	8.7日	17.3日	26.3日	65.6日	263日
低	5.3日	7.1日	10.4日	20.6日	31.3日	78.1日	313日

※録音設定が [オン] で音声が入力されている場合

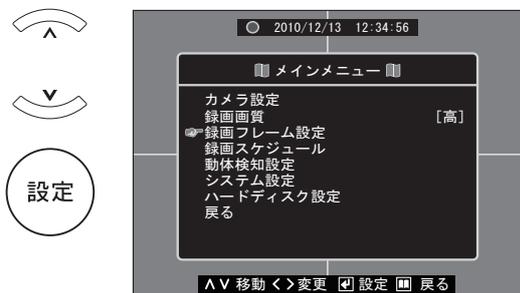
※ 本製品はカメラごとに録画フレーム数を設定できます。※録画フレーム総数が60フレームまで

※ 録画時間の表は、あくまでも目安です。カメラ設置場所の環境や入力される映像の色・明るさ・動き等で録画可能な時間が増減します。

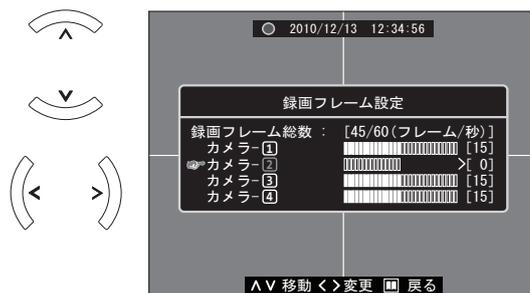
### ▼ 設定方法

**例** カメラを1台、[カメラ-①] チャンネルに接続して、録画フレーム数 [30] に設定する場合。

- 1** P.2 操作 **1** ~ **3** を参考に [メインメニュー] 画面を表示します。  
 (▲) (▼) ボタンで [録画フレーム設定] を選択し、  
 【(⊕)設定】 ボタンを押します。



- 2** [録画フレーム設定] 画面が表示されます。この場合は、(▲) (▼) ボタンで [カメラ-②] を選択し、(◀) ボタンを数値が [0] になるまで繰り返し押します。



# はじめに設定しましょう

- ※ ⏪ ボタンを押すたびに、他のカメラの設定可能なフレーム数の範囲が [ ] で表示されます。また、設定可能な録画フレーム総数 [60] に対して、使用されている録画フレーム総数が表示されます。
- ※ ⏪ ⏩ ボタンで変更できる場合は、[ ] の左に数値を下げられる場合は [ < ]、数値を上げることのできる場合は [ > ] のマークが表示されます。

## 【注意】

使用されている録画フレーム総数が [60] で、設定変更を行う場合は、必要としないカメラの録画フレーム数を下げることが必要となります。

- 3** ⏪ ⏩ ボタンで [カメラ - ①] を選択して ⏩ ボタンを数値が [30] になるまで繰り返し押しします。

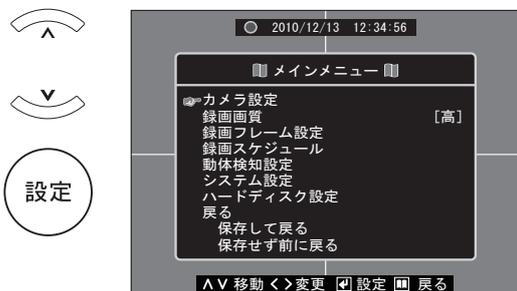


- 4** 【Ⓜメニュー】ボタンを押して[メインメニュー]画面に戻ります。

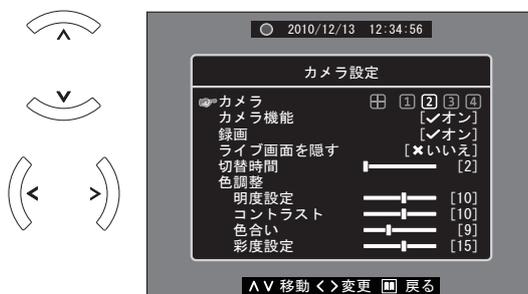


※映像入力がないカメラの断線検知マークを表示させない場合は、操作**5**~**8**を行ってください。

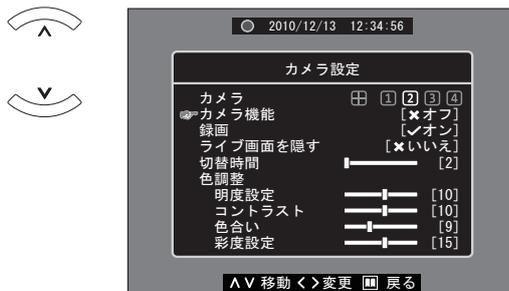
- 5** ⏪ ⏩ ボタンで [カメラ設定] を選択し、【ⓐ設定】ボタンを押します。



- 6** [カメラ設定] 画面が表示されます。  
⏪ ⏩ ボタンで [カメラ] へ移動し、⏪ ⏩ ボタンで [カメラ - ②] を選択します。



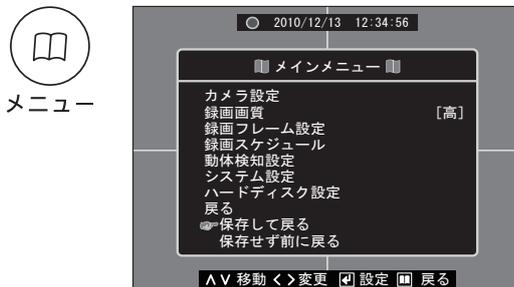
- 7** ⏪ ⏩ ボタンで [カメラ機能] へ移動し、⏪ ⏩ ボタンで [オフ] に切り替えます。



- 8** [カメラ - ③・④] についても **6** **7** の操作を同様に行います。  
[カメラ - ②・③・④] の [カメラ機能] を [オフ] に変更し、【Ⓜメニュー】ボタンを押します。



- 9** [メインメニュー] 画面に戻ります。  
⏪ ⏩ ボタンで [保存して戻る] を選択して【ⓐ設定】ボタンを押し、ライブ画面に戻ります。



## 2. カメラの配線が抜けたとき等にブザーを鳴らす

### ■ [断線検知ブザー] の設定を [オン] にする

カメラの配線が抜けたり、断線した時に本体の警報ブザーでお知らせする機能です。より確実な記録のために、接続したカメラの [断線検知ブザー] を [オン] にすることをおすすめします。

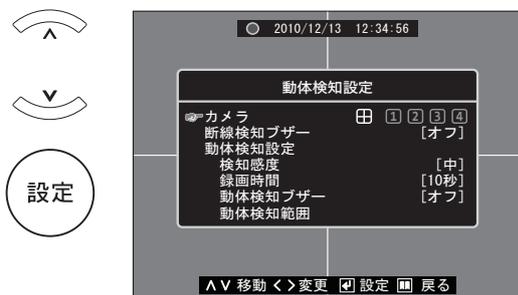
※初期設定では、すべてのカメラが「オフ」に設定されています。

### ▼ 設定方法

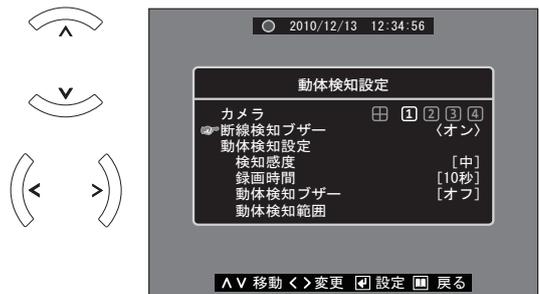
**例** カメラを1台、[カメラ-1] チャンネルに接続した場合の設定。

**1** P.2 操作**1**~**3**を参考に [メインメニュー] 画面を表示します。

▲ ▼ ボタンで [動体検知設定] を選択し、**【設定】** ボタンを押します。

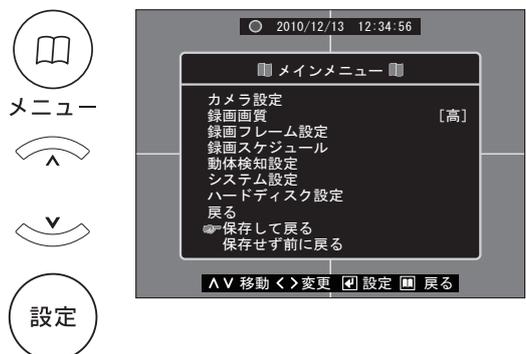


**3** ▲ ▼ ボタンで [断線検知ブザー] を選択し、◀ ▶ ボタンで [オン] に切り替えます。



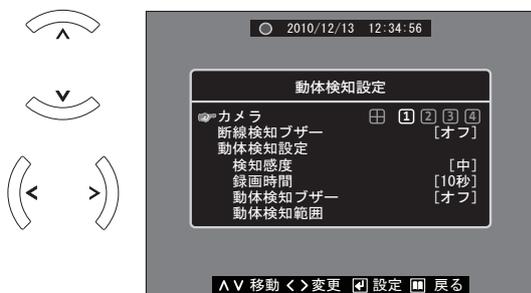
**4** **【田メニュー】** ボタンを押して [メインメニュー] 画面に戻ります。

▲ ▼ ボタンで [保存して戻る] を選択して **【設定】** ボタンを押し、ライブ画面に戻ります。



**2** [動体検知設定] 画面が表示されます。

▲ ▼ ボタンで [カメラ] に合わせ、◀ ▶ ボタンで **[1]** を選択します。



※カメラごとの設定が可能です。  
詳しくは、取扱説明書P.42 を  
ご覧ください。

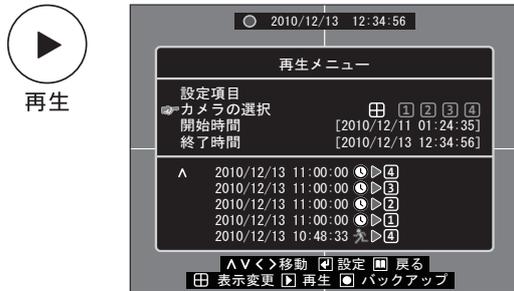
#### 《断線検知ブザーの止め方について》

- ① ブザーの鳴っているカメラの映像入力信号を復帰させる。
- ② [動体検知設定⇨断線検知ブザー] の設定を [オフ] に切り替える。  
(設定方法➡上記参照、または取扱説明書 P.42)

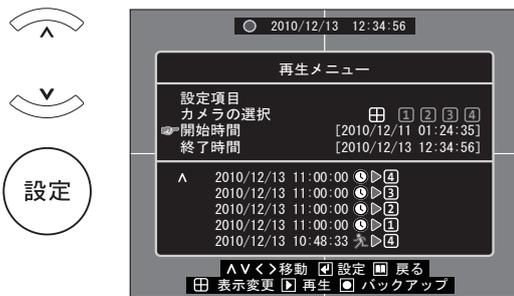
# 再生

## 日時指定再生する

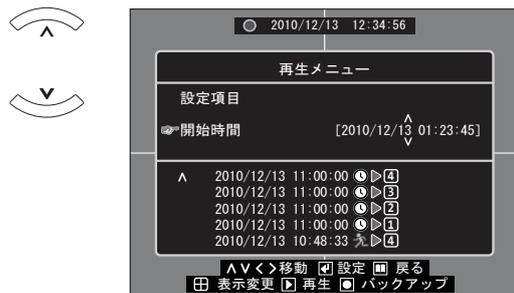
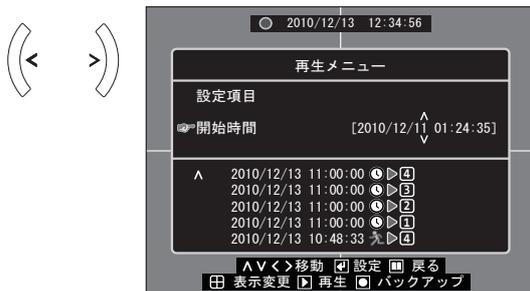
**1** ライブ画面で【▶再生】ボタンを押し、[再生メニュー]画面を表示します。



**2** ▲▼ボタンで[開始時間]を選択し、【⊙設定】ボタンを押します。



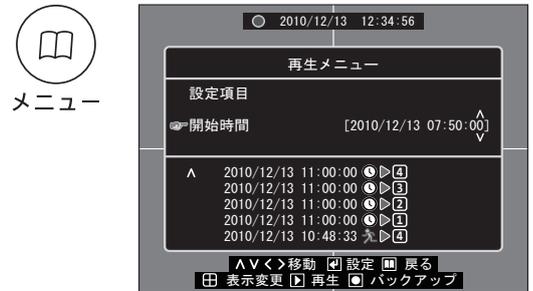
**3** 画面が[開始時間]設定状態の表示になります。◀▶ボタンで再生を開始したい日時の数値に◇マークを合わせて、▲▼ボタンで数字を切り替えていきます。



### 《注意》

[開始時間]には、前回、日時指定再生を行った時の時間が表示されます。

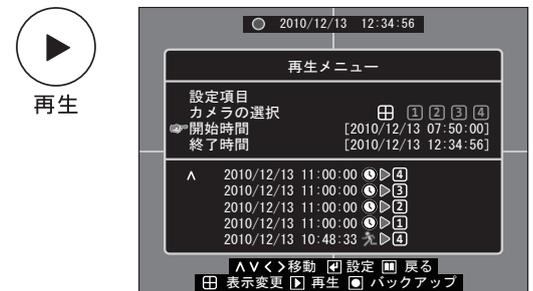
**4** [開始時間]を合わせ終わったら、【Ⓜメニュー】ボタンを押します。



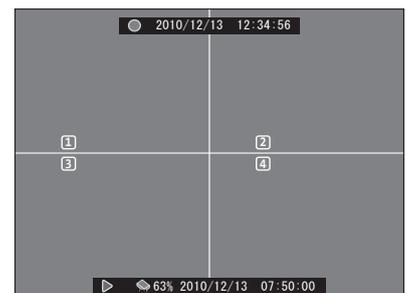
### 《注意》

ハードディスクに記録されている期間外の時間を指定すると、元の[再生メニュー]画面に戻ります。再度、時間を指定し直してください。

**5** [再生メニュー]画面に[開始時間]が指定されます。【▶再生】ボタンを押します。



**6** 再生を開始します。再生している録画データ上の日時は、画面の下に表示されています。再生中のボタン操作については、P.7をご覧ください。

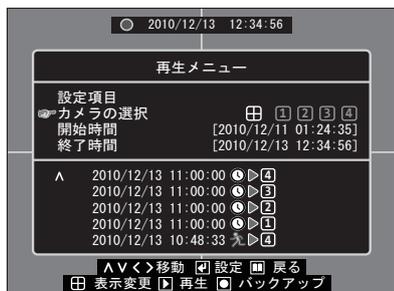


### 《注意》

指定した時間に録画データがない場合は、指定した時間以降の一番近い録画データを再生します。

## リスト再生する

1 ライブ画面で【▶再生】ボタンを押し、[再生メニュー]画面を表示します。



### 《リストに表示するカメラの切替方法》

リストに表示するカメラは選択できます。

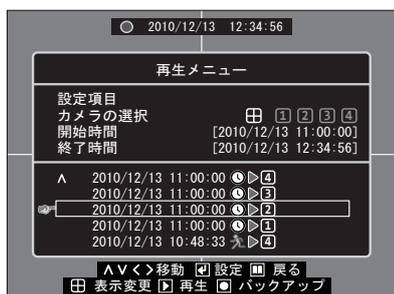
[カメラの選択]のマークが緑色のカメラがリスト内に表示されます。(白色：選択解除)

▲▼▲▼ボタンで[カメラの選択]の「4台選択」とそれぞれの「カメラ選択」上で【⊖設定】ボタンを押し、緑色と白色を切り替えます。

2 ▲▼ボタンでリスト内から再生したい録画データを選択します。

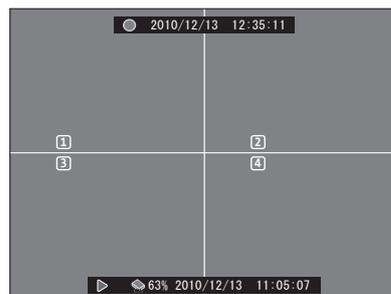
※◀▶ボタンで、リストの頁移動ができます。

※録画データを選択すると、上段の[開始時間][録画時間]には録画データの録画開始時間と、終了時間が表示されます。



3 【▶再生】ボタンを押し、再生を開始します。再生している録画データ上の日時は、画面の下に表示されています。

再生中のボタン操作については、下表をご覧ください。



## 再生中のボタン操作について

操作ボタン	主な操作内容
 1 2  3 4 カメラ切替	再生画面を単一画面に切り替えます。 ※再生中に、保存された録画データのないカメラの画面は黒く表示されます。
画面切替	再生画面を4分割画面に切り替えます。 ※再生中に、保存された録画データのないカメラの画面は黒く表示されます。
停止	再生を停止してライブ画面に戻ります。
一時停止	再生を一時停止します。 ※一時停止中は、押すたびにコマ送りします。

操作ボタン	主な操作内容
再生	再生中▶再生を一時停止します。 早再生中/戻し再生中▶通常の再生にします。
メニュー	再生を停止して[再生メニュー]画面に戻ります。
早再生	早送り再生します。(5段階) ※再生できなくなった時点で一時停止します。
戻り再生	戻りながら再生します。(5段階) ※再生できなくなった時点で一時停止します。

